【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2003-303609(P2003-303609A)
【公開日】平成15年10月24日(2003.10.24)
【出願番号】特願2002-109360(P2002-109360)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０１Ｍ　8/04
　Ｇ０６Ｆ　1/26
　Ｈ０１Ｍ　8/00
　Ｈ０４Ｎ　5/225
【ＦＩ】
　Ｈ０１Ｍ　8/04　Ｚ
　Ｈ０１Ｍ　8/00　Ａ
　Ｈ０４Ｎ　5/225　Ａ
　Ｇ０６Ｆ　1/00　３３０Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成17年4月4日(2005.4.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　燃料電池に供給される燃料の残量を表示する表示手段を有することを特徴とする情報機器。
【請求項２】
　燃料電池で発電された電気により充電される二次電池の残量を表示する表示手段を有することを特徴とする情報機器。
【請求項３】
　燃料電池に供給される燃料の残量と、前記燃料電池で発電された電気により充電される二次電池の残量とを同じ画面に表示する表示手段を有することを特徴とする情報機器。
【請求項４】
　燃料電池に供給される燃料の残量と、前記燃料電池で発電された電気により充電される二次電池の残量の何れかを表示手段に選択的に表示できるようにしたことを特徴とする情報機器。
【請求項５】
　燃料電池に供給される燃料の残量と、前記燃料電池で発電された電気により充電される二次電池の残量と、それらの何れかを表示手段に選択的に表示できるようにしたことを特徴とする情報機器。
【請求項６】
　前記燃料電池に供給される燃料の残量をアイコンで表示できるようにしたことを特徴とする請求項１、３、４又は５に記載の情報機器。
【請求項７】
　燃料電池で発電された電気により充電される二次電池の残量をアイコンで表示できるようにしたことを特徴とする請求項２から５の何れかに記載の情報機器。
【請求項８】

前記燃料電池が稼動しているか否かを前記表示手段に表示できるようにしたことを特徴とする請求項１から７の何れかに記載の情報機器。
【請求項９】
前記燃料電池に供給される燃料を格納する格納手段の交換を警告するための文字列を表示できるようにしたことを特徴とする請求項１から８の何れかに記載の情報機器。
【請求項１０】
前記燃料電池に供給される燃料の補給を警告するための文字列を表示できるようにしたことを特徴とする請求項１から８の何れかに記載の情報機器。
【請求項１１】
前記表示手段は、撮影された画像を表示する表示手段でもあることを特徴とする請求項１から１０の何れかに記載の情報機器。
【請求項１２】
前記表示手段は、記録メディアから再生された画像を表示する表示手段でもあることを特徴とする請求項１から１１の何れかに記載の情報機器。
【請求項１３】
前記情報機器は、ビデオカメラであることを特徴とする請求項１から１２の何れかに記載の情報機器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、ビデオカメラなどの情報機器であって燃料電池を用いることができるものに関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
そこで、本発明は、燃料の補給時期、燃料カートリッジの交換時期などをユーザに知らせることができるようにした情報機器を提供するすることを目的とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
【課題を解決するための手段】
本発明に係る情報機器の一つは、上記目的を達成できるようにするため、例えば、燃料電池に供給される燃料の残量を表示する表示手段を有することを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明に係る情報機器の一つは、上記目的を達成できるようにするため、例えば、燃料

電池で発電された電気により充電される二次電池の残量を表示する表示手段を有することを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明に係る情報機器の一つは、上記目的を達成できるようにするため、例えば、燃料電池に供給される燃料の残量と、前記燃料電池で発電された電気により充電される二次電池の残量とを同じ画面に表示する表示手段を有することを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明に係る情報機器の一つは、上記目的を達成できるようにするため、例えば、燃料電池に供給される燃料の残量と、前記燃料電池で発電された電気により充電される二次電池の残量の何れかを表示手段に選択的に表示できるようにしたことを特徴とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明に係る情報機器の一つは、上記目的を達成できるようにするため、例えば、燃料電池に供給される燃料の残量と、前記燃料電池で発電された電気により充電される二次電池の残量と、それらの何れかを表示手段に選択的に表示できるようにしたことを特徴とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８２】
【発明の効果】
本発明によれば、燃料の補給時期、燃料カートリッジの交換時期などをユーザに知らせることができる。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８３
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２０】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８６
【補正方法】削除
【補正の内容】